

寒川文書館だより

Vol. 11



昭和59年まで使われた寒川駅の駅名標（当館蔵）

■第11号目次

- 資料紹介（寒川駅の駅名標） 2
- 大蔵自治会文書が寄託／寒川の先人たち 3
- 特集・相模線開業90周年 4
- 文書館 最近のできごと 7

第11号
2012.3.31
寒川文書館

<資料紹介> 寒川駅の駅名標

(当館蔵)

表紙に掲げた資料は寒川駅の駅名標である。平成23年9月から24年4月まで開催した寒川文書館企画展「相模線きのう・きょう・あした」において、壁面に展示した。

これは寒川町が寒川駅から譲り受けた標識板6枚のうちの1点である。昭和60年(1985)9月、寒川駅の橋上駅舎ができ、駅構内の標識板が一新されたのち、不用のものが町の寒川駅周辺整備事務所に委ねられた。のちに町史編さん課に移管され、平成18年から文書館の所蔵となっている。同時に駅長室や精算所の案内看板、運賃表なども譲り受けた。

駅名標とは、プラットフォームや駅舎にその駅名などの情報を掲示する標識板である。旧国鉄の場合、第1種=駅舎の屋外用、第2種=ホーム上部からの吊り下げ用、第3種=ホームの柱用、第4種=ホーム地面に建植え用、の4タイプがあった。

この資料は第4種で、大きさは幅120cm、高さ90cmのものが2枚1組になっている。ホームに埋められた支柱を両側から挟む形で設置し、ボルトで固定された。ボルト用の穴が上下左右7箇所空いているのがわかる。

写真に掲げたものは、右方面が香川駅、左方面が宮山駅および西寒川駅と書かれているので、下り線の側に掲げられていたもの。もう1枚は左方面が香川駅、右方面が宮山駅および西寒川駅とあるので、こちらは上り線用である。

西寒川支線は昭和59年3月末をもって廃止された。この駅名標が使用されたのもこの時までである。ではこれが設置されたのはいつごろだったのだろうか。残念ながらこれを具体的に示す資料はいまだ見つからないが、次に掲げる写真がそ



昭和54年の駅名標

のヒントになる。

この写真は、昭和54年3月ごろ、広報担当が撮影したものである。これを見ると、左方面は宮山駅のみとなっており、西寒川方面の記載がないので、館蔵資料とは別物であることがわかる。つまりこの館蔵資料は、昭和54年3月以降に設置され、西寒川支線が廃止となる昭和59年3月に撤去されたものと思われる。したがって、実際に駅に掲示されていたのは5年に満たなかったようである。

(高木秀彰)



同時に寄贈された駅長室の表示板

大蔵自治会文書が寄託

—「銃後」の暮らしを知る貴重な資料群—

平成24年3月、大蔵自治会文書が寒川文書館に寄託されました。

この資料は古くから大蔵自治会が作成したり受け取ったりしてきた書類で、代々の自治会長が引継いでいたものです。

平成2年、町史編さんのため当時の自治会長から町が借り受け、目録を作成し、マイクロフィルムに撮影するなどの作業をしたあと、町で保管していましたが、このほど寄託契約が整い、閲覧ができるようになりました。

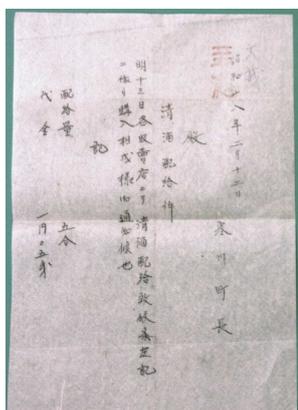
総点数は548点、枝番号も含めると861点に及びます。明治32年(1899)から昭和49年(1974)ま

での資料の中で、特に第二次大戦下の行政組織や庶民生活にかかわる記録が多数含まれているのが特徴です。

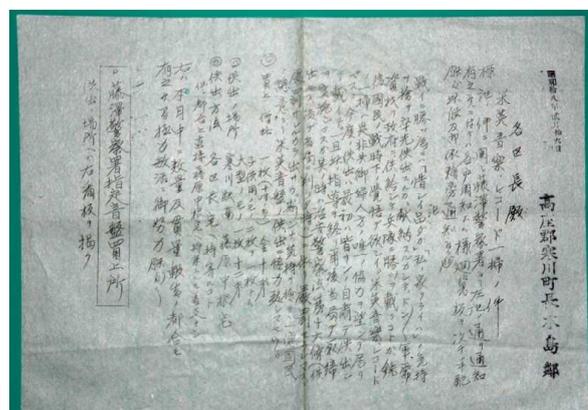
写真に掲げたのは、昭和18年2月の清酒の配給とレコードの回収に関する文書です。この月には他に、衣料切符の交付、漬物用塩の配給、兎の供出、電灯の使用制限といった文書も町役場から自治会に通達されています。こうした生活の細部にわたる記録は役場には残されておらず、この自治会文書は当時の様子を教えてくれる貴重な記録です。



中性紙保存箱に入れて保管



清酒配給の文書



レコード回収の文書

シリーズ 寒川の先人たち

第10回：下大曲だけは手放さない—大岡忠相—

江戸時代の旗本・大名です。八代将軍徳川吉宗のもとで江戸の町奉行に抜擢され、商人仲間の公認・町火消しの創設など江戸の市政に尽力、後年理想的な政治を彼に仮託したいいわゆる「大岡政談」「大岡裁き」が講談や歌舞伎で広まって人気を博しました。

のちに功績が認められ一万石の大名となった際、相模・武蔵・上総・上野・下野の五か国に分散していた領地を三河国西大平（愛知県岡崎市）にまとめる事になりましたが、先祖が徳川家康からもらった最初の領地である下大曲村は手放さなかつたので下大曲村は幕末まで大岡氏の領地でした。茅ヶ崎市堤の浄見寺にお墓があります。

(渡辺真治)



忠相の墓（茅ヶ崎市・浄見寺）

特集・相模線開業 90 周年

大正 10 年（1921）9 月 28 日、総延長わずか 5 km ほどの小さな鉄道が産声をあげました。茅ヶ崎－寒川間で開業した相模鉄道、現在の J R 相模線です。2011 年はそれからちょうど 90 年、また橋本まで全通してから 80 年、電化されてから 20 年と、節目の年となりました。これを記念して開催されたさまざまな事業についてご紹介いたします。

企画展「相模線きのう・きょう・あした」平成23年9月11日～24年4月30日



展示風景



ボランティアによる準備のようす

企画展では、「はじめに」、「1 駅のうつりかわり」、「2 相模線の 90 年」、「3 二つの砂利支線」、「4 グラフでみる相模線」、「5 沿線鳥瞰図を読み解く」、「6 相模線を支える組織」という六つのコーナーを設け、大正 6 年（1917）の相模鉄道株式会社設立から、平成 23 年の東日本大震災による計画停電に伴う運休まで 90 年間のあゆみや、今後の活性化の取り組みなどについて、さまざまな資料を使ってご紹介しています。

展示では、写真のほかにも、路線図にそれぞれの駅の開業・廃止・改称などの日付を書き込んだ高さ 216 cm のパネル、昭和 59 年まで寒川駅で使用していた駅名標の現物、昭和 2 年発行の「相模線沿線鳥瞰図」、町内在住で平成 22 年に逝去した画家・田口雅巳さんが描いた相模線の絵、記念切符、オレンジカード、ポスターなどを見てください。

なお、当初は 2 月 29 日までの予定でしたが、好評につき 2 か月延長することになりました。

懐かし映像上映会「映像に見る相模線」平成23年11月3日



相模川での砂利採取（「砂利物語」）

この上映会は、図書館・文書館の開館記念日に両館の共催で毎年開催しているもので、今回は開催中の企画展「相模線きのう・きょう・あした」に合わせ、相模線の映像記録を神奈川県立図書館から借用して上映しました。

上映したのは、「砂利物語」（1946 年ころ）、「相模線をたずねて」（1987 年）、「文学散歩—相模線に乗って—」（1986 年）、「神奈川ニュース 魅力キラキラ相模線沿線」（1999 年）の 4 本です。

資料保存活用講演会 平成23年11月27日



講演会の様子

「キハ35を追いかけて一写真家の記録した相模線の気動車一」と題し、写真家の則直泰さんにご講演いただきました。則直さんは、平成3年（1991）3月に相模線が電化される直前のディーゼルカーと魅力あふれる沿線の風景や人々の暮らしを後世に遺そうと、橋本から茅ヶ崎まで沿線をくまなく歩き、数千点に及ぶポジフィルムに記録しました。講演では180枚に及ぶ作品を大型モニターに映し、一枚ごとに撮影したときの状況などを解説していただくとともに、このフィルムの記録としての重要性について語っていただきました。

絵はがき集の発行 平成23年11月23日、12月27日



相模線を撮り続けてきた高澤一昭さんと則直泰さん、お二人の作品のなかから八点ずつを選んで絵はがき集1・2（封筒入、解説書つき）を制作し、各500円で販売しています。

絵はがき集1は「1960年代の相模線」と題し、高澤一昭さんの作品をご紹介します。高澤さんは寒川出身の元国鉄運転士で、高校生の頃から寒川町内を中心に、相模線とその周辺の風景を撮り続けてきました。絵はがき集2「相模線最後の気動車1990-1991」は、写真家・則直泰さんの数千点に及ぶ作品のなかから、とっておきの作品をご紹介します。

沿線スタンプラリー 平成23年9月28日～11月30日



寒川のスタンプ

「沿線スタンプラリー」は、茅ヶ崎、寒川駅、海老名駅、入谷駅、橋本駅の5か所のスタンプを台紙にすべて集めて応募すると、抽選で沿線の特産品が当たるといふ、神奈川県・相模線沿線市町・経済団体・JR東日本横浜支社が共催したイベントです。このうち、寒川駅のスタンプを文書館企画展会場に設置しました。

寒川駅のスタンプのデザインは、寒川のB級グルメ「さむかわ棒コロ」のキャラクター、「コロ坊」のイラストです。

駅からハイキング 平成23年11月23日

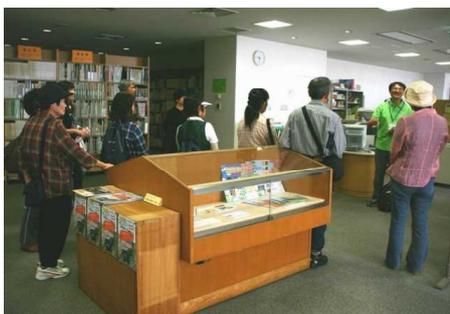


寒川駅のゴール受付

「駅からハイキング」はJR東日本が開催するイベントで、11月23日、「寒川駅開業90周年記念・相模線歴史発見ウォーク」と題して開催されました。寒川駅を起点に、西寒川駅跡地、梶原景時館跡、寒川神社など町内の史跡を巡る約7.5kmのコースが設定されました。

当日配布されたコース地図に、寒川文書館で展示が開催中である旨を記していただいたため多数の来館がありました。また事前準備として、寒川町観光協会を通じてパンフレットに掲載する写真の提供依頼があり、西寒川駅の写真を提供しました。

史跡散策の案内 平成23年9月25日



寒川町聴覚障害者協会より、同会の史跡ウォークのガイドについて依頼を受けました。事前の打ち合わせの結果、テーマは「相模線の史跡を歩く」となりました。

当日は15名の方々にご参加いただきました。まず文書館において展示の説明を行い、そのあと四之宮支線の分岐点跡、川寒川支線の線路跡、一之宮緑道と西寒川駅跡などを案内しました。併せて不動堂、梶原景時館跡、車地蔵など一之宮の史跡も見歩きました。

『寒川町史研究』第24号 特集：相模線開業90周年 平成24年3月31日



『寒川町史研究』を2年ぶりに発行しました。

今回の特集は「相模線とその記録」です。写真家・則直泰さんの講演会の記録、聞き書き、資料紹介を掲載しました。

聞き書きでは、寒川駅前に長年にわたり住んできた方と、元国鉄職員、2人の方から相模線の思い出を語っていただきました。

資料紹介は、国に買収される以前の相模線が登場する新聞記事127点を翻刻したものです。鉄道の開通が沿線住民にとって、いかに大きなできごとだったかが、よくわかります。

文書館 最近のできごと

■観光協会史跡ウォーク 10月30日(日)



寒川町観光協会主催のウォーキングイベントに講師として参加しました。倉見駅を起点に、倉見、宮山、小谷地区の史跡を訪ね、その先々で歴史的な背景について解説を行いました。また大蔵の畑でサツマイモを収穫させていただくなど、盛りだくさんの内容となりました。平成24年3月27日には、中瀬、田端、一之宮地区の史跡をめぐり、田端の畑でほうれん草などを収穫するコースも手伝いました。

■中世史講座「郷土の史跡と吾妻鏡の世界 2」 11月～2月



平成23年11月から24年2月にかけて、全4回で中世史講座を開催しました。茅ヶ崎・藤沢地域を主に扱った去年度につき、今年度は海老名・綾瀬・座間・相模原地域の、国分寺・星谷寺・無量光寺…といった中世前期にまつわる史跡を紹介し、あわせて関連する『吾妻鏡』の記事を講読しました。事前に史跡を探訪して撮影した写真を画面に映して解説すると、受講したみなさんは興味深そうに見入っていました。

■図書館講演会「さむかわの川」 12月10日(土)



寒川総合図書館の企画展「世界の川・日本の川」の記念講演に講師として参加しました。まず神奈川県県土整備部厚木土木事務所の職員から、県による相模川の管理についてお話があったあと、「さむかわの川」と題し、相模川、目久尻川、小出川、永池川などの河川と寒川の人々の暮らしとの関わりについて、農業用水、交通、砂利採取、水害などさまざまな角度から紹介しました。

■寒川駅北口地区まちづくり講義会研修会 1月20日(金)



寒川駅北口区画整理事業の地権者らでつくる「まちづくり協議会」で防災をテーマに研修会が、寒川駅周辺整備事務所で開かれました。文書館からは、関東大震災の被害状況について説明したうえで、過去の記録を今後の防災対策に役立てる必要性について説きました。次いで防災安全課より、今後の地震や津波の被害想定やその対策について報告がありました。タイムリーな話題だけに、多くの方が熱心に聴いてくださいました。

今後の事業予定

■開催中の展示の会期延長

今号でご紹介した企画展「相模線 きのう・きょう・あした」は、ご好評につき、4月30日(月)まで延長することになりました。

■次回展示予告

第12回企画展「2市1町の絆—湘南広域都市行政協議会50年のあゆみ—」(仮)

本年4月、湘南広域都市行政協議会が発足して50周年を迎えます。これを記念し、50年間の協議会の活動や成果について、2市1町の住民生活にどのような影響があったのか、という視点から、たくさんの公文書や写真を用いてご紹介します。

会期 平成24年6月17日(日)～9月9日(日)

■平成24年度の講座・講演会

平成24年度は次の講座等を開催する予定です。日時、会場、申込み方法など、詳しいことは「広報さむかわ」、文書館のホームページ、チラシなどをご覧ください。

○古文書講座(10月まで開講、全6回)

○中世史講座(全4回、11～2月)

○町史講座・資料保存活用講演会は、詳細は未定です。

編集後記

寒川文書館だより第11号をお届けします。

昨年秋の寒川文書館は、相模線一色でした。相模線開業90周年、全線開業80周年、電化20周年を記念して、企画展をはじめ、講演会、上映会、絵はがき集の発行など、さまざまな事業を展開し、さらには他団体とのタイアップやマスコミ取材などもあって、毎日慌ただしく過ごしていました。

おかげさまで大勢の皆さんにご来館いただくことができました。これにより、ますます相模線に愛着を持っていただけたのではないかと、そして資料を残すことの大切さをご理解いただけたのではないかと考えています。

そこで今回は3ページの特集を組み、これらの事業結果を中心にまとめました。また『寒川町史研究』第24号も相模線特集を組みました。合わせてご覧いただければ幸いです。

今後も企画展や町史刊行物などを通じて、タイムリーな話題を提供してまいります。ぜひご期待ください。

利用案内

■開館時間

火曜～金曜日 午前9時～午後7時
土・日・祝日 午前9時～午後5時

■休館日

月曜日(国民の祝日にあたる場合は開館)
年末年始(12月29日～1月3日)
特別整理日(決まり次第お知らせします)

■交通のご案内

JR相模線 寒川駅下車 徒歩10分
寒川町コミュニティバス 図書館文書館前下車 徒歩1分
※なるべく公共交通機関か自転車、徒歩でお越しください。



寒川文書館だより 第11号

平成24年3月31日

編集・発行/寒川文書館

〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山135-1

TEL 0467-75-3691 FAX 0467-75-3758

ホームページ <http://www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp>

電子メール bunshokan@town.samukawa.kanagawa.jp